



新年のご挨拶

理事長 矢島 隆

新年 あけましておめでとうございます。

平素から、当機構に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、本当に自然災害の多い年でありました。地震、水害等により、多くの人命や資産が奪われました。亡くなられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様方には、心よりお見舞い申し上げます。

経済面では、世界経済は穏やかに拡大基調が続いたと言われていますが、米中貿易摩擦や新興国不安、原油価格などのリスク要因が懸念されています。国内経済も、比較的堅調に推移しているものの、世界経済の変動リスクや、本年10月の消費税率改定などの影響が懸念され、先行き不透明感が高まっています。

こうした情勢の中、当機構は、昨年も、専門家等派遣を中心とする支援業務を展開したほか、民間事業者包括委託方式の活用促進など公共団体施行土地区画整理事業の支援を行ってまいりました。また、立体換地手法の活用に向けて「立体換地手法の活用・実務の手引き（案）2018」の出版や、「立体換地手法活用講習会 2018」の開催を行ったほか、10月に長野市で「都市再構築・中心市街地活性化講習会 2018」を開催し、多数の方々にご参加いただきました。さらに民間事業者研究会においては、「2030 市街地整備のあり方検討分科会」として、未来を洞察する視点を取り入れつつ、民間事業者の立場から市街地整備のあり方を描こうとしています。

国土交通省の新年度予算案を見ると、街づくりの重点施策として、安全・安心なまちづくりをはじめ、官民データや新技術を活用した「スマートシティ」の推進、「コンパクトシティ」の推進などを掲げ、関連予算・制度の拡充を図っています。また、近年都市のスポンジ化対策にも重点が置かれ、「空間再編賑わい創出事業」の創設（昨年7月の都市再生特別措置法等の改正により創設）や、都市のスポンジ化が進行する地区における誘導施設整備のための小規模な区画整理等の推進に向けた「小規模で柔軟な区画整理活用ガイドライン」が策定されたところです。

これらの対策を進める上で、土地区画整理事業の果たす役割は大きく、今後も街づくりの様々な課題に対応した土地区画整理事業を効果的に推進する必要があります。また、公共団体施行も含めて、区画整理事業に関する経験・技術を有する職員が不足しているのが実情であり、民間事業者の活用も含めた多様な取り組みを進める必要があります。

当機構としては、引続き、取り巻く環境変化に対応しつつ、区画整理によるまちづくりを促進するため、民間事業者やコンサルタントの皆様と連携し、「専門家等派遣」、「専門家グループによる事業化支援」、「業務代行者の紹介」、「民間事業者包括委託支援」、「宅地利用事業者紹介」などを進めて参ります。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとって実り多い1年になることをお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

「平成30年度特別講演会」開催の報告

平成31年1月22日（火）に、ノースアジア大学の野口秀行教授をお迎えして、「迫りくるデジタル変革の波とこれからのまちづくり」と題した講演会を開催しました。これからのまちづくりを進める上では、科学技術の進歩などによる経済社会の大きな変化を踏まえて、未来を見通しながら時代の変化に対応したまちづくりや区画整理事業を進めていくことが重要であるとの考えから、技術革新も含めて経済社会の動きに精通された野口先生にご講演いただきました。



おかげさまで80名以上のお申込みをいただき、急遽会場を変更して大変盛況でした。

アンケートでは、「大変勉強になり、よい刺激を受けた」「新しい視点でこれからの街づくり、社会について考えたい」等々、ご意見をいただきました。

「民間事業者研究会」の活動報告

◆平成30年度 第8回 幹事会

日時：平成30年1月18日（金） 16：30～17：30

場所：促進機構会議室

内容：役員のオブザーバー参加のもと、大成建設（株）片岡分科会座長から分科会の活動報告と、東急電鉄（株）小川幹事長から国土交通省市街地整備課との意見交換会の結果について報告しました。また、今年度の講演会や現地視察会の開催と、2019年度の総会の日程について議論しました。



↑片岡分科会座長



◆お問い合わせ先◆

公益財団法人区画整理促進機構

〒102-0084 東京都千代田区二番町 12-12 B.D.A. 二番町ビル 2階

電話：03-3230-4513 F A X：03-3230-4514

HPアドレス：<https://www.sokusin.or.jp>

E-mail：mail@sokusin.or.jp